

# Web サイト構築における情報デザイン

## 〈スタイルシート(CSS)レイアウトの重要性〉

商学部 商学科 1 年 学籍番号 1234567890

氏名 明治 太郎

1. はじめに .....	1
2. Web サイトの構築.....	1
3. スタイルシートレイアウトとは.....	1
4. スタイルシートの魅力 .....	2
5. おわりに .....	3

## 1. はじめに

Web サイトを構築する上で重要なことは、「伝えたい情報（コンテンツ）をいかに明確にユーザーに伝えることができるか」である。したがって、「ユーザビリティ」や「アクセシビリティ」<sup>1</sup>を考慮した情報デザインを構築していくことが最も重要である。その上で、グラフィックやアニメーションなどを上手く組み合わせたビジュアルデザインを考えていくことが、魅力的な Web サイトの構築となる。

今回は、そのサイトデザインの根幹とも言える、情報設計に欠かせない「スタイルシート（CSS）<sup>2</sup>レイアウト」に着目し、情報デザインにおける CSS の重要性について説いていく。

## 2. Web サイトの構築

一般的に Web サイトを構築するには、HTML という言語を使う。しかし、HTML のみで構築されたサイトは、デザインもコンテンツも一つのファイルに書き込むため、細かいレイアウトができない。「複雑化されたテーブルレイアウトやフレームデザイン」、「繰り返し使われる font タグや透過 GIF 画像」のような、無駄な要素が発生してしまう。

そこで、デザインはデザイン、コンテンツはコンテンツで切り離して管理するスタイルへと変化していくようになり、スタイルシートレイアウトが注目を浴びるようになった。

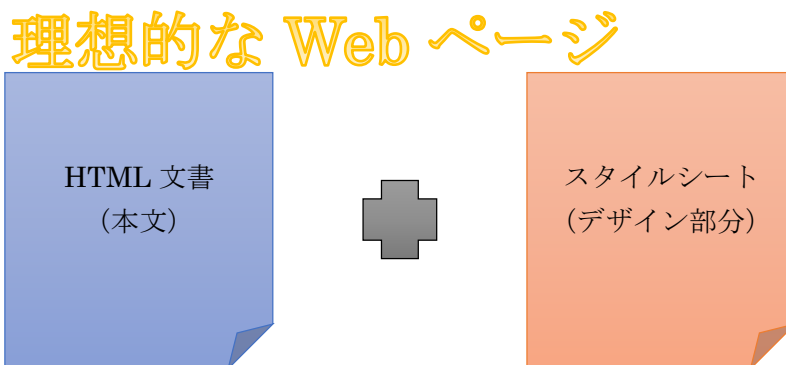


図 1 理想的な Web ページのモデル図

## 3. スタイルシートレイアウトとは

CSS とは、W3C（World Wide Web Consortium）が作成した標準デザインを念頭に置いた言語であり、コンテンツ（情報）とフォーム（デザイン）の二つを分割してページ管理をすることが目的である。

HTML で作成した文書に CSS を追加すれば、フォントの大きさ、行間、余白などあらゆる側面からレイアウトをコントロールでき、工夫を凝らしたデザインも可能になる。こうすることで、HTML 文書には余分なタグが発生せず、CSS でデザインを一括管理することができるのである。

<sup>1</sup> ここで言う「ユーザビリティ」とはユーザーにとって Web サイトが閲覧しやすく使いやすいということを指し、「アクセシビリティ」とはナビゲーションやサイトマップが分かりやすく、Web サイトへアクセスしやすいことを指す。

<sup>2</sup> Cascading Style Sheets の略。現在一般的に使用されているスタイルシートとは、スタイルシート言語の一つである CSS を指していることが多く、ここではスタイルシートを CSS と表記していく。

表 1 HTML のみと CSS 追加の場合のタグ比較

例)	HTML のみ	CSS 追加
テーブル(1×1)	<code>&lt;table&gt;&lt;tr&gt;&lt;td&gt;～&lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;&lt;/table&gt;</code>	<code>&lt;div&gt;～&lt;/div&gt;</code>
テキストカラー(赤)	<code>&lt;font color="red"&gt;～&lt;/font&gt;</code>  HTML 内の指定したい文字列をこのタグで囲む。別の色に変更したい場合、その文字列ごとにタグの色を指定しなおさなければならない。	<b>セレクト { color: red }</b>  HTML 内で要素やクラスを指定すれば、CSS で一括管理できる。別の色に変更したい場合、CSS の色を変えるだけで、指定したすべてのセレクトに適用する。

#### 4. スタイルシートの魅力

では、CSS の魅力とはいかなるものか？ 具体的に検証してみよう。

##### (1). ファイルサイズの縮小化

CSS を使うことでファイルサイズが縮小され、ダウンロード時間を短縮できる。これによりファイル転送量も軽減され、サーバーの負担も軽くなった。実際、テーブルデザインから CSS デザインに変更すると、ファイルサイズを 40～60%縮小できるといわれている。

##### (2). 高度なタイポグラフィーの表現

フォントサイズをより細かく指定できるようになり、行間、文字幅など可読性だけでなく、影を付けるなど文字自体もデザインすることができる。

##### (3). 要素の配置指定の向上

階層（深さ）での場所指定により、要素を重ねて表示できるようになり、ピクセル単位による細かい指定もより簡単にできるようになった。

##### (4). オールインワンサイト

CSS の media 属性を使用することによりメディアタイプ (Print や Screen など) を設定することができ、メディアに応じた細かい設定が可能となった。例えば、印刷用ページや PDA 専用ページを作成する際、従来のように一つずつページを作り分けしなくても、すべて一つの HTML ファイル、つまりオールインワンで表現できる。

##### (5). サイト開発、管理、更新の時間短縮

サイト全体のデザインに手を加えたいとき、ひとつひとつの HTML 文書を編集しなくても、CSS ファイルの修正だけで作業を終わらせることができる。また、サイトの管理や更新も、一からレイアウトを組み直す必要がないため、作業効率が向上する。

(6). アクセシビリティの向上

CSS を効果的に使うことによって、構造的に意味のある HTML 文書を作成することが可能となった。これは、音声ブラウザのようなアクセシビリティが必要な端末に有効であり、より多くのユーザーが閲覧しやすくなったといえる。

(7). SEO 対策

構造的な HTML ファイルを作ると、ロボット検索からは非常に解析しやすいページとなり、SEO (Search Engine Optimization=検索エンジン最適化) 対策につながる。上記に挙げたアクセシビリティと同様、HTML の構造化により、特定のブラウザに依存することなく、さまざまな形でユーザーにコンテンツを提供することが可能となった。つまり、多くのユーザーが閲覧出来るようになったのである。

## 5. おわりに

CSS がいかに魅力的か理解して頂けたらうか。しかしながら、CSS が多くのメリットをもたらすと分かっているにもかかわらず、実際にテーブルデザインから脱却して CSS デザインへと移行することは容易なことではない。また、ブラウザの違いによって表示が異なる場合もあり、企業のサイトを見渡しても、テーブルをまったく使わないデザインはあまり見受けられないのが現状である。

サイトごとにユーザーに提供したい情報が異なるため、アニメーションや画像、動画を駆使したサイトを提供の方が効果的な場合もあるだろう。しかし、それはビジュアルデザインに重点をおいた考え方である。本来 Web サイトとは、情報コンテンツをいかに明確に伝えるかが重要であり、その点で CSS は、ユーザビリティとアクセシビリティを兼ね備えた理想的な Web サイトの構築技術である。

ビジュアルデザインに効果的に CSS を組み合わせ、ユーザーに分かりやすく情報提供をすることができ、かつ、サイト管理もしやすくなれば、今後、より多くの場面で CSS が必要とされ、利用されていくのではないだろうか。

### 【参考文献】

『スタイルシート例文辞典』(<http://www.openspc2.org/reibun/css/>) アクセス日時 : 2012 年 3 月 16 日 13 : 00

有坂陽子 長谷川恭久 著 『正しくやさしい CSS 入門 スタイルシートスタイルブック』  
翔泳社 2004

(株)アंक著 『スタイルシート辞典 第3版』翔泳社 2002